

# デジタルツインを活用した健康・にぎわい促進施策の効果検証事業

## ■都市課題

- SDGsを踏まえた持続可能な都市づくり
- 高齢者などの災害時を含めた移動手段の確保
- スマートで安心・安全、快適な生活が営める環境
- 分野横断的で効率的な施策による行政コスト軽減

## ■解決方策

- デジタルツインの活用により、デジ田事業（住民の健康行動の促進×賑わい創出事業）と連携するとともに、健康・賑わい促進の観点からより望ましい行動変容を促す施策を導出

## ■KPI

- ✓ 外出増加率：  
サービス運用開始時比30%増

## ■実証実験の概要・目的

ウェアラブルデバイスを通じて収集する住民のバイタル・行動データをデジタルツイン上でデータ分析・シミュレートし、健康・賑わい促進の観点からより望ましい行動変容を促す施策の効果検証を行う

## ■実証実験の内容

ウェアラブルデバイス・スマートフォンアプリより収集するバイタルデータ、行動データをデジタルツインで分析・可視化し、住民の行動変容促進施策を検証



## ■実証実験で得られた成果・知見

目標達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルツイン×ウェアラブルデバイス・スマートフォンアプリによる住民のバイタル・行動データの分析手法を確立</li> <li>● 検証を通じて、デジ田事業による住民の健康行動への寄与度を可視化し、デジタルツインを活用した分析の有用性を確認</li> </ul>
持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実証を通じて具体化した技術課題の解決を図りつつ、行政・民間・利用者等の経費負担や、全体最適化、本エリアを起点に府内の複数都市への展開により収益拡大を図り、持続可能性を目指す</li> </ul>
役割・体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都府及びデジタルツイン環境を提供する事業者を中心に、協議会内で随時情報を連携</li> </ul>
データ利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ウェアラブルデバイス・スマートフォンアプリで収集するデータについては、匿名加工処理の上京都府が運営しているデータ流通取引市場においてオープンデータとして公開</li> </ul>

## ■今後の予定

- デジタルツイン×デジ田事業（住民の健康行動の促進×賑わい創出事業）のユースケースの具体化に向けて、技術課題の解決を図りつつ、府内の複数都市への事業展開により収益拡大を図り、持続可能性を目指す。
- あわせて、持続可能な事業として確立するために、基礎自治体の課題を踏まえて、防災・減災などのユースケースを高度化（車両避難シミュレーションなど）